

ポイント

甲状腺はのどぼとけの下にある蝶が羽を広げた形をした
大きさ4 cm ほど重さ15～20g の臓器です
甲状腺ホルモンはからだの「新陳代謝」を調整しています
脈拍数や体温、自律神経の働きを調整し
エネルギーの消費を一定に保っています

甲状腺機能亢進症と高血圧

甲状腺ホルモンが過剰に分泌されると、心拍数が上昇し、心臓の収縮力が強くなり、その結果動脈圧が上がり、高血圧が引き起こされることがあります。また、体内の代謝が活発になるため血流の増加も促され、頻脈とともに特に収縮期血圧（最高血圧）が高くなる傾向があります。

<治療>

抗甲状腺薬・放射性ヨウ素内用療法・手術の治療法があります

甲状腺機能亢進症・甲状腺中毒症の症状



甲状腺ホルモン過剰

甲状腺機能低下症の症状



甲状腺ホルモン減少

甲状腺機能低下症と高血圧

甲状腺ホルモンが不足すると代謝が低下し、徐脈とともに、体内のナトリウム排泄が低下し塩分が体内に蓄積するため、これが血圧上昇の原因になることもあります。この状態では特に拡張期血圧（最低血圧）が高くなることが多いです。

<治療>

甲状腺ホルモン補充療法

のどの腫れなどで気になる方は・・・

甲状腺の検査は、おもに血液検査と超音波検査があり、血液検査でホルモン濃度を測定します、気になる方は医師にご相談ください

※頻脈 心拍数 100 回/分以上、徐脈 心拍数 50 回/分未満